

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	関係法規・制度		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時間)
			関係法規・制度			美容科	1～2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次5月～2年次2月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	前沢	講師の実務経験	年以上	3
------	----	---------	-----	---

授業概要	社会における様々な法律行為の理解と、美容所に勤める場合や経営する場合に必要な関係法規・制度について理解する		
授業方法	講義～確認テスト～期末試験		
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト	
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出	
	知識・理解	学期ごとの期末テスト	
	備考		

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	法制度			20	20	60	100
衛生行政			20	20	60	100	
美容師法			20	20	60	100	
関連法規			20	20	60	100	
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、点数化し評価する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	日本理容美容教育センター関係法規・制度テキスト、ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～4回、5月、6月	法制度の概要、衛生行政の概要、美容師法(目的・用語の定義)の理解
5回～7回、10月～11月	美容師に関する規定の理解
8回～10回、1月・2月	美容所に関する規定・立入検査・違反者に対する行政処分・罰則の理解
11回・12回、5月・6月	関連法規(美容業の運営に関する法律・美容業の衛生に関する法律・美容業の消費者保護に関する法律)の理解
13回・10月	練習問題(総合的な練習問題で知識と理解を深める)
14回・15回、1月・2月	国家試験対策問題(国家試験の傾向と対策を行う)
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	衛生行政勤務の経験を活かし、美容師として必要な法律についての講義を行う。美容師の仕事は国民の衛生に関することなので行政機関による指導のもとで法令を守り美容を行う。法令を守る美容師の育成を目的とする。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	衛生管理		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			衛生管理			美容科	1～2年次	90時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次5月～2年次2月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	遠藤 山下	講師の実務経験	年以上	3
------	-------	---------	-----	---

授業概要	衛生管理として公衆衛生・環境衛生・感染症に関する知識を学び、美容所での消毒など衛生管理技術を学ぶことを通じて、美容師としての資質を身に付ける。		
授業方法	講義～確認テスト～期末試験		
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト	
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出	
	知識・理解	学期ごとの期末テスト	
	備考		

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)		
		公衆衛生 確認テスト及び期末試験		25	25	50	100	
	環境衛生 確認テスト及び期末試験		25	25	50	100		
	感染症 確認テスト及び期末試験		25	25	50	100		
	消毒法などの衛生管理技術 確認テスト及び期末試験		25	25	50	100		
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、点数化し評価する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	日本理容美容教育センター衛生管理テキスト、ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
6回 4～9月	公衆衛生 / 少子高齢化、生活習慣病など日本の公衆衛生の現状を学び、公衆衛生の向上に貢献する美容師の役割を説明できる。
6回 10～2月	環境衛生 / 空気環境、衣服・住居の衛生、上下水道と廃棄物、衛生害虫などを学び、環境が自然や人々の健康に及ぼす影響、美容所の管理との関係を説明できる。
12回 4～2月	感染症 / 様々な感染症と病原微生物について説明できる。また、美容所における感染例や、感染症の予防について説明できる。
12回 4～2月	衛生管理技術 / 美容師法、同施行規則に規定されている各種消毒法を学び、実際に消毒薬を調整することができる。
4回 12～2月	衛生管理の実践例 / 「理容所及び美容所における衛生管理要領」を通じて、美容所における衛生管理の実践を学び、法令等に準じた適切な管理ができる。
5回 12～2月	国家試験対策 / 国家試験の傾向と対策を身に付ける。
講師の実務経験と授業の関係	薬剤師・獣医師が、衛生行政の実務経験を活かし、美容師の業務に役立つ公衆衛生、環境衛生、感染症、衛生管理技術等に関する講義を行う。美容業は美容師法に基づき、公衆衛生の見地から様々な規制がされていることを理解し、法令を守る美容師の育成を目指す。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	美容保健		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			保健			美容科	1～2年次	90時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次5月～2年次2月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	有賀 塚田	講師の実務経験	年以上	3
------	-------	---------	-----	---

授業概要	美容師として必要な、頭頸部の構造や機能について深い知識を得る	
授業方法	講義～確認テスト～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	学期ごとの期末テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	頭頸部・骨格・筋肉・神経・感覚器		25	25	50	100	
	血液循環・呼吸器・消化器		25	25	50	100	
	皮膚と皮膚付属器官の構造、生理機能、神経系		25	25	50	100	
	皮膚と皮膚付属器官の保健と疾病		25	25	50	100	
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、点数化し評価する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	日本理容美容教育センター美容保健テキスト、ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～5回、4月～7月	人体の構造及び機能(頭頸部・骨格・筋肉・神経・感覚器)
6回～8回、10月～12月	人体の構造及び機能(血液循環・呼吸器・消化器)
9回～10回、1月・2月	皮膚科学(皮膚と皮膚付属器官の構造、生理機能、神経系)
11回・12回、5月・6月	皮膚科学(皮膚と皮膚付属器官の保健と疾病)
13回、10月	国家試験対策問題(過去問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う)
14回・15回、1月・2月	国家試験対策問題(国家試験の傾向と対策を行う)
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	薬剤師・看護師の経験を活かし、美容師として必要な人体・皮膚科学についての講義を行う。国民の健康と美しさを守り、維持する美容師の育成を目的とする。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	化粧品化学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			化粧品			美容科	1～2年次	60時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次5月～2年次2月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	笹井 飯島	講師の実務経験	年以上	3
------	-------	---------	-----	---

授業概要	美容師としての化粧品の性状や使い分け、社会的意義や法的根拠、安全性について学び、公衆衛生に資する知識を身に着ける	
授業方法	講義～確認テスト～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	学期ごとの期末テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	化粧品概要	確認テスト及び期末試験		25	25	50	100
皮膚の化粧品	確認テスト及び期末試験		25	25	50	100	
頭皮・毛髪の化粧品	確認テスト及び期末試験		25	25	50	100	
基礎科学	確認テスト及び期末試験		25	25	50	100	
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、点数化し評価する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	日本理容美容教育センター化粧品化学テキスト、ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～6回、4月～7月	化粧品概要・化粧品用原料(化粧品の社会的意義・化粧品の安全性と取扱い・様々な技術の化粧品原料など)の理解
7回～16回、10月～12月	基礎化粧品・メイクアップ用化粧品(皮膚の化粧品)の理解
17回～20回、1月～2月	頭皮・毛髪用化粧品、芳香製品と特殊化粧品の理解
21～24回、5～7月	化粧品化学を理解するための基礎科学
25～29回、10～12月	国家試験対策問題(過去問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う)
30回、2月	国家試験対策問題(国家試験の傾向と対策を行う)
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	薬剤師・環境保全研究の経験を活かし、美容師として必要な化粧品化学についての講義を行う。化粧品の原料や使用方法、化粧品の社会的意義や法的根拠、製品の安全性など、公衆衛生に資する美容師の育成を目的とする。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	運営管理		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			運営管理			美容科	1～2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次5月～2年次2月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	滝澤	講師の実務経験	年以上	3
------	----	---------	-----	---

授業概要	経営者の考え方や経営者が果たす責任、顧客を満足させるサービスとは何か、それをどう実現するかについて学ぶ		
授業方法	講義～確認テスト～期末試験		
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト	
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出	
	知識・理解	学期ごとの期末テスト	
	備考		

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
		経営者の視点(経営とは・理美容の経営)		25	25	50	100
	経営者の視点(資金の管理)		25	25	50	100	
	従業員としての視点		25	25	50	100	
	顧客のために		25	25	50	100	
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、点数化し評価する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	日本理容美容教育センター運営管理テキスト、ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～3回・5月～6月	経営が必要とされる理由、経営資源と経営戦略
4回～8回・10月～12月	資金の管理(収支と損益、会計の考え方、コストの管理、税金について)
9回・10回・1月～2月	人という資源、人の能力を高める、健全・安全な職場、社会保険、キャリアプランの重要性
11回・6月	顧客のために(マーケティング、接客について、接客の実践)
12～14回・10～12月	国家試験対策問題(予想問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う)
15回・2月	国家試験対策問題(国家試験の傾向と対策を行う)
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	社会労務士の経験により、社会の動向や競争の中で変化していくなか、店を守り発展していく理美容の経営について講義を行う。顧客や社会のために仕事を担う責任についてより有能で活躍できる美容師の育成を目的とする。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	美容文化論		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			文化論			美容科	1～2年次	60時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次2月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	中澤佐和子 山崎 滝澤 中澤な 秦 佐藤	講師の実務経験	年以上	3
------	----------------------	---------	-----	---

授業概要	人の歴史の最古から理美容がかかわり、「今」は過去の上に成り立っていることを知り、各時代背景でどのような「美しさ」が求められたのかを知	
授業方法	講義～確認テスト～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	学期ごとの期末テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	美容業の歴史		25	25	50	100	
ファッション史日本編		25	25	50	100		
ファッション史西洋編		25	25	50	100		
礼装の種類		25	25	50	100		
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、点数化し評価する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	日本理容美容教育センター美容文化論テキスト、ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～5回、4月～7月	日本の理容業・美容業の歴史(江戸～ 近代～ 現代～)
6回～8回、10月～12月	ファッション文化史 日本編
9回～10回、1月～2月	ファッション文化史 西洋編
11回・12回、5月～6月	礼装の種類
13回・10月	国家試験対策問題(予想問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う)
14回・15回、1月～2月	国家試験対策問題(国家試験の傾向と対策を行う)
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師としての経験の中で伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容文化を継承することを目的としている。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	美容技術理論		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			美容技術理論			美容科	1～2年次	150時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次2月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	中澤佐和子 山崎 滝澤 清水 中澤な 秦 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	----------------------------	---------	-----	---

授業概要	美容技術の科学的根拠や、系統に沿った理論を正しく理解する		
授業方法	講義～確認テスト～期末試験		
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト	
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出	
	知識・理解	学期ごとの期末テスト	
	備考		

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
		美容用具・シャンプー・ヘアデザイン		25	25	50	100
	カット・パーマ・ウェーブ・セット		25	25	50	100	
	ヘアカラー・エステティック・ネイル		25	25	50	100	
	メイク・日本髪・着付け		25	25	50	100	
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、点数化し評価する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	日本理容美容教育センター美容技術理論1・2テキスト、日本理容美容教育センター美容実習1・2テキスト、ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～24回、4月～7月	美容用具、名称・シャンプー・ヘアデザイン(美容技術を学ぶにあたっての基礎知識と名称)
25回～41回、10月～12月	ヘアカット・パーマ・ウェーブ・ヘアセット
42回～45回、1月～2月	ヘアカラー・エステティック・ネイル
46～53回、5～7月	メイクアップ・日本髪・着付け
54～67回、10～12月	国家試験対策問題(過去問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う)
68～75回、1～2月	国家試験対策問題(国家試験の傾向と対策を行う)
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師としての経験の中で授業に合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習(ワインディング)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時間)
			美容実習			美容科	1～2年次	195時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次11月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	中澤佐和子 山崎 滝澤 清水 中澤な 秦 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	----------------------------	---------	-----	---

授業概要	国家試験課題であるワインディング技術を正しく理解させる	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	全体バランス
	技能	基本技術 フロッキング・スライス・シェーブ・巻き込み・ゴムかけ
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	ステムの角度と方向
	備考	決められた時間内に作成すること(国家試験は20分間)

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト(正しい収まり方)		25	25	25	25	100
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100
	期末試験(決められた時間内で正しく巻く)		50			50	100
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	基本の巻き方や姿勢を体得し、決められた時間内で国家試験課題を正しく作成できること(時間設定は一か月前に告知)						

テキスト・教材	国家試験課題集・美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターDVD
その他参考書	展示作品(合格ライン完成作品・ステムの方向と角度の展示作品)

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回 4月	ウィックの取り扱い・コムワーク等基本の巻き方・フロッキング 準備や正しい姿勢、基本技術の理解を目標
5回～10回 5月	オールパーパス全頭巻 基本技術を生かし、頭の丸みに合わせて巻くことを目標とする
11回～21回 6月	国家試験課題 全頭 国家試験課題を正しく巻く
22回～30回 7月	国家試験課題 全頭 決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
31回～35回 1月	国家試験課題 全頭 決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
36回～40回 4月	国家試験課題 全頭 決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
41回～45回 6月	国家試験課題 全頭 決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
46回～49回 7月	国家試験課題 全頭 決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
49回～52回 10月	国家試験課題 全頭 決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
52回～55回11月	国家試験課題 全頭 決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
備考	

時間外での学習	練習の回数を重ねることで、正しいワインディング技術と理解が深まるため課題提出を行う。
講師の実務経験と授業の関係	美容室勤務の経験を活かし、スタイルづくりに欠かせないパーマ技術について授業を行う。授業内ではウィックに行うが、美容室では、さまざまな頭部や毛髪に合わせて技術を行うため、美容師としての経験の中で授業に合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習(サロン実習・シャンプー)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時
			美容実習		○	美容科	1~2年次	180時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月~2年次11月	時限			資格対応			

担当教員	滝澤 清水 中澤な 奏 佐藤 山崎 サロンオーナー	講師の実務経験	年以上	3
------	---------------------------	---------	-----	---

授業概要	全ての基礎を作る前の施術であるシャンプー技術を正しく理解させ、お客様にとって気持ちよい施術を行う	
授業方法	展示~実習~確認テスト~サロン実習~実習~確認テスト~サロン実習	
授業目標	思考・判断・表現	相モデルへの気遣いや、技術内容により、相モデルからの信頼感が得られる
	技能	シャワーヘッドの当て方、指の強さや動かし方、技術時間配分
	関心・意欲・態度	次の施術に合った内容で、相モデルが気持ちよく安心して任せているか
	知識・理解	全ての技術の順番や内容に理論があり、手順書通りに行えること
	備考	サロン実習の評価表を参考にする

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
		確認テスト(見返りシート)		25	25	25	25
	確認テスト(決められた時間内で仕上げる)		25	25	25	25	100
	期末試験)		25	25	25	25	100
評価の表示	準備から施術、片付けのジャッジと、相モデルの見返りシートを参考に(100点満点より)算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	サロン実習の評価表を基に、サロンでの接客や技術の向上をはかる						

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターDVD
その他参考書	実務経験のある教員作成による手順書・接客に関する手引き

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1~4回 4月	クロス掛け・ブラッシング・接客(ご案内の仕方)・ヘッドマッサージ
5~10回 5月	すすぎ・シャンプーイング(サイドシャンプー)タオルドライとターバン
11~21回 6・7月	シャンプーイング(パックシャンプー)・ブロードラースタイルング
22~30回 8~12月	シャンプーイング(ヘアカラー後のシャンプー)
31~36回 1月	サロン実習
37回~40回 4月	シャンプーイング(ヘッドスパ)
41回~56回 5月	サロン実習
41回~45回 6月	シャンプーイング(様々な場面のシャンプーイング)・ヘアアレンジなどの仕上げ
46回~65回 7月	ご案内~シャンプーイング~ブロードラースタイルングまたはヘアアレンジ~お見送り(相モデル)
66回~79回 10月	ご案内~シャンプーイング~ブロードラースタイルングまたはヘアアレンジ~お見送り(相モデル)
80回~90回12月	ご案内~シャンプーイング~ブロードラースタイルングまたはヘアアレンジ~お見送り(相モデル)
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験から、様々な美容技術がスムーズに行えるシャンプー技術について展示講習をしつつ、授業を行う。より快適な気分を味わっていただけるお客様にとって気持ちの良い技術を心がけさせるとともに、体の位置や姿勢などに注意し技術者自身が腰痛など起こさないような指導を行う
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習(オールウェーブ)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時
			美容実習			美容科	1～2年次	195時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次11月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	中澤佐和子 山崎 滝澤 清水 中澤な 秦 佐藤 山崎				講師の実務経験	年以上	3
------	----------------------------	--	--	--	---------	-----	---

授業概要	国家試験課題であるオールウェーブ技術を正しく理解させる		
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験		
授業目標	思考・判断・表現	全体バランス	
	技能	基本技術 フィンガーウェーブ・スライス・シェーブ・カーリング・ピニング	
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出	
	知識・理解	カールとウェーブの関係性・ウェーブ幅	
	備考		

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト(フィンガーウェーブ)		25	25	25	25	100
	確認テスト(カーリング)		25	25	25	25	100
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	基本技術と正しい姿勢を体得し、決められた時間内で国家試験課題を正しく作成できること(時間設定は一か月前に告知)						

テキスト・教材	国家試験課題集・美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターDVD
その他参考書	展示作品(合格ライン完成作品・カールとウェーブの関係性の展示作品)

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～8回 11～2月	ウィックの仕込み・フィンガーウェーブ 準備や正しい姿勢、基本技術の理解を目標
9回～25回 4～7月	国家試験課題 全頭作成 国家試験課題の理論の理解と作成・様々なカールの作成
26～75回 8～12	国家試験課題 全頭 国家試験課題を正しく作成・ローラーカーリング・アイロンセッティング
76回～80回 1月	国家試験課題 全頭 時間内に国家試験課題を正しく作成
備考	

時間外での学習	練習の回数を重ねることで、正しいオールウェーブ技術と理解が深まるため課題提出を行う。
講師の実務経験と授業の関係	授業内ではウィックに行うが、美容室勤務の経験を活かし、さまざまな頭部や毛髪に合わせて技術を行うため、美容師としての経験の中で授業に合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習(カッティング)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時
			美容実習			美容科	1～2年次	210時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次11月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	山崎 滝澤 清水 中澤な 秦 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	----------------------	---------	-----	---

授業概要	ベーシックなカッティング技術と実践トレーニング及び国家試験課題	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	課題による仕上がりスタイル
	技能	基本技術 シザーズワーク・コムワーク、仕上がりスタイル
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	様々なスタイルの展開図とパネルの引き出し、カットラインの違いによるスタイルの理解
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト		25	25	25	25	100
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	国家試験課題集・美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターDVD
その他参考書	展示作品(合格ライン完成作品・STEMの角度とカットラインの関係性の展示作品)

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回 4月	準備や正しい姿勢、基本技術の理解を目標
5回～10回 5月	ワンレングスカット ワンレングスカットが正確に切れる
11回～21回 6月	グラデーションカット グラデーションカットが正確に切れる
22回～30回 7月	レイヤーカット レイヤーカットが正確に切れる
1回～4回 5月	セムレングスカット セムレングスカットが正確に切れる
5回～10回 6月	国家試験課題 全頭作成 国家試験課題の理論の理解と作成
11回～21回 7月	国家試験課題 全頭 国家試験課題を正しく作成
22回～30回 8月	国家試験課題 全頭 決められた時間内に国家試験課題を正しく作成
備考	

時間外での学習	練習の回数を重ねることで、正しいカッティング技術と理解が深まるため課題提出を行う。
講師の実務経験と授業の関係	授業内ではウィックに行うが、美容室勤務の経験を活かし、さまざまな頭部や毛髪に合わせて技術を行うため、美容師としての経験の中で授業に合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習(アップセット)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時
			美容実習		○	美容科	1～2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次7月～2年次7月	時限	資格対応					

担当教員	滝澤 清水 中澤な 秦 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	-------------------	---------	-----	---

授業概要	基本的アップセット技法	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	様々なスタイルのアップセットとその仕上がり
	技能	コーム、ブラシワークと全体バランス、ピンやゴム、すき毛の使い方、ヘアアクセサリーの使い方
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	ブロッキング
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト		25	25	25	25	100
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評価は5段階評価にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評価	5	4	3	2	1

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターDVD
その他参考書	展示作品(すき毛の見本・様々なスタイルの完成作品)

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～3回 7月・8月	アップスタイルの基本技術 アップスタイルの基本技術が表現できる
4～7回 10～12月	様々な編み込みスタイル 様々な編み込みスタイルが作成できる
8～10回 1月・2月	かさね夜会 かさね夜会を作成できる
11～15回 5～6月	合わせ夜会 合わせ夜会を作成できる
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	授業内ではウィックに行くが、美容室勤務の経験を活かし、さまざまな頭部や毛髪に合わせて技術を行うため、美容師としての経験の中で授業に合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習(メイク)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時
			美容実習		○	美容科	1～2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次11月	時限	資格対応	JMAメイクアップ検定				

担当教員	滝澤 清水 中澤な 秦 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	-------------------	---------	-----	---

授業概要	ベーシックメイクアップや、プロが使用しているコスメティックや道具を使用した応用テクニックを取得する		
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験		
授業目標	思考・判断・表現	相モデルへの気遣いや、技術内容により、相モデルからの信頼感が得られる	
	技能	スキンケアやポイントメイクの仕上がりやアイテムの使い方は正しいか	
	関心・意欲・態度	相モデルに満足していただける仕上がりか	
	知識・理解	全ての技術の順番や内容に理論があり、手順書通りに行えること	
	備考		

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト			25	25	25	25
確認テスト			25	25	25	25	100
認定試験			50			50	100
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターDVD
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～3回 7月・8月	スキンケア・ベースメイクアップ
4～7回 10～12月	アイメイク・アイブロウメイクアップ・リップメイクアップ・ブラッシュオンメイクアップ
8～10回 9月	ブライダル・成人式メイクアップ
11～15回 2月	まつ毛エクステンション
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験から、相モデルへの気づきやモデルに似合うメイクアップ技術の提案などしつつ、授業を行っていきことを目的とする。また、まつ毛エクステンションは特に衛生面について注意を促すように、ウィックによる展示講習を行う。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習(ネイル)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時
			美容実習		○	美容科	1~2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月~2年次11月	時限	資格対応	INAネイル検定				

担当教員	中澤佐和子 秦 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	---------------	---------	-----	---

授業概要	爪先から手足全体を美しく健康的に、清潔にすることを目的としたネイル技術		
授業方法	理論~展示~実習~理論~実習~確認テスト		
授業目標	思考・判断・表現	相モデルへの気遣いや、技術内容により、相モデルからの信頼感が得られる	
	技能	理論に沿った技術が行えていること	
	関心・意欲・態度	授業態度、評価表	
	知識・理解	全ての技術の順番や内容に理論があり、手順書通りに行えること	
	備考		

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	確認テスト		25	25	25	25	100	
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100	
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100	
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評価にて表示する	100点法	100~80	79~65	64~60	59~21	20~0	
		5段階評価	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターDVD
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回~4回 4月	ハンドマッサージ(軽擦法~強擦~揉捻~圧迫)の手技と効能を理解し正しく行えること
5回~10回 5月	フットマッサージ(軽擦法~強擦~揉捻~圧迫)の手技と効能を理解し正しく行えること
11~15回 6月	ネイルケア(ネイル道具の名称と使い方)について理解する
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験を活かし、相モデルに衛生的で安心できる技術が行えるように指導することを目的とする。また、それぞれの手技と効能についての理解を深めるアドバイスをすることができる。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習(エステ)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時
			美容実習			美容科	1~2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月~2年次11月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	中澤佐和子 中澤奈々 秦 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	--------------------	---------	-----	---

授業概要	化粧品や機器、手などで物理的・化学的な方法を施し、毛髪以外の全身に関わる皮膚の美容法を学ぶ	
授業方法	理論~展示~実習~理論~実習~確認テスト	
授業目標	思考・判断・表現	相モデルへの気遣いや、技術内容により、相モデルからの信頼感が得られる
	技能	理論に沿った技術が行えていること
	関心・意欲・態度	授業態度、評価表
	知識・理解	全ての技術の順番や内容に理論があり、手順書通りに行えること
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	確認テスト		25	25	25	25	100	
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100	
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100	
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100~80	79~65	64~60	59~21	20~0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターDVD
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回~4回 10月	エステティックの備品・機器、フェイシャルマッサージ
5回~10回 11月	背中のマッサージ
11~15回12月・1月	フェイシャルパックとフェイシャルマスク
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験を活かし、相モデルに衛生的で安心できる技術が行えるように指導することを目的とする。また、それぞれの手技と効能についての理解を深めるアドバイスをすることができる。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	色彩士検定対策		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			芸術		○	美容科	1～2年次	24時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	1年次6月～2年次11月	時限	資格対応	パーソナルカラー検定				

担当教員	加賀谷	講師の実務経験	年以上	3
------	-----	---------	-----	---

授業概要	人が感じる色の感情作用とその原因となっている色の特性を理解する	
授業方法	理論～実習～確認テスト～検定～実践	
授業目標	思考・判断・表現	目的を持った取り組み方
	技能	色の特性の理解とパーソナルカラー診断
	関心・意欲・態度	授業態度、課題提出
	知識・理解	検定
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	課題提出		25	25	25	25	100	
	確認テスト		25	25	25	25	100	
	検定試験		50			50	100	
	合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	初めてのパーソナルカラー
その他参考書	問題集、カラードレープ、メイク道具、ネイル道具

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～5回 6～9月	基礎編 色が見える条件と感情効果、色の仕組み、基本の配色方法
6～10回10・11月	応用編フォーシーズンを理解して使いこなす、パーソナルカラー診断、暮らしを彩るテクニック 検定
11～12回 6・8月	自分のパーソナルカラーを見つける 実習
13～15回9～11月	お客様のパーソナルカラー診断 メイク・ネイル・ヘアカラー
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	カラーリストの経験を活かし、美容技術においてのメイク、ネイル、ヘアカラー等お客様に合ったパーソナルカラーの診断ができる美容師の育成を目的とする。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	スタイルデザイン		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			芸術			美容科	1～2年次	28時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次2月	時限		資格対応				

担当教員	小嶋	講師の実務経験	年以上	3
------	----	---------	-----	---

授業概要	人体の形とヘアスタイルの美しいフォルムについての研究と、その表現をする力を育てる	
授業方法	実習	
授業目標	思考・判断・表現	自分らしい表現方法をたんきゅうする
	技能	鉛筆による表現、色彩による表現の仕方
	関心・意欲・態度	授業態度、課題提出
	知識・理解	
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
		課題提出		25	25	25	25
	合計						
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	ケント紙・参考ヘアデザイン・鉛筆・消しゴム、半顔ウィック、小物、ウィック、ボード
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～4回 5～9月	スタイル画の描き方
5～8回 10～2月	ウィックによる反立体構成
9～11回 4～6月	スタイル画の描き方
12～15回 8～12月	色彩による表現
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美術教師と心理カウンセラーの経験を活かし、個々の個性を生かして、よりクリエイティブな美容師の育成を目的とする。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	フォト(SNS、コンテスト対応)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			芸術			美容科	1～2年次	8時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次2月	時限		資格対応				

担当教員	原山	講師の実務経験	年以上	3
------	----	---------	-----	---

授業概要	SNSやコンテストで写真として作品を残す、美容技術と撮影技術を学ぶ	
授業方法	実習	
授業目標	思考・判断・表現	陰影と質感を黒のみで表現できる、美しいフォルムを表現できる
	技能	テーマやモデルに合わせたヘアメイクと、撮影技術で作品として表現できる
	関心・意欲・態度	授業態度、課題提出
	知識・理解	
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
		課題提出		25	25	25	25
	合計						
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	撮影機材、ヘアセット教材、メイク教材
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回 8～9月	モデルの素材を活かしたヘアメイクを、フォトとして作品にし表現できる。
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師としてコンテスト入賞や、集客のためのSNS技術の経験を活かし、ヘアメイク技術を挙げるとともに、写真として作品を制作できる美容師の育成を目的とする。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	健康運動学 I		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			健康運動学			美容科	2年次	10時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	2年次4～2月	時限		資格対応				

担当教員	早川	講師の実務経験	年以上	3
------	----	---------	-----	---

授業概要	美容師として働くために必要な、栄養と睡眠、運動について、また健康に害を及ぼすことについての知識を得ること		
授業方法	講義～確認テスト～期末試験		
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト	
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出	
	知識・理解	学期ごとの期末テスト	
	備考		

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)		
	確認テスト		25	25	50	100		
	確認テスト		25	25	50	100		
	確認テスト		25	25	50	100		
	期末テスト		25	25	50	100		
	合計		100	100	200			
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回4月	健康を維持するための睡眠とストレスについて
2回7月	喫煙などによる身体への害
3回10月	栄養と健康
4回12月	仕事とストレス解消
5回2月	免疫力を上げ健康管理ができる社会人へ
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容業界の若手教育の経験を活かし、美容師として心と体の健康維持するための知識を得ることを目的とする。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	健康運動学Ⅱ		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			健康運動学			美容科	1年次	10時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～1月	時限		資格対応				

担当教員	有賀 丸山	講師の実務経験	年以上	3
------	-------	---------	-----	---

授業概要	専門的な体のストレッチを学び、心身ともに健康である生活を送るための知識と技能を取得する		
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習		
授業目標	思考・判断・表現		
	技能		
	関心・意欲・態度	授業態度	
	知識・理解		
	備考		

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	確認テスト			25	25	25	25	100
グループ発表			25	25	25	25	100	
合計								

評価の表示 基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する

評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回・2回4月・6月	毎日続けるストレッチ体操
3回 9月・10月	美しい姿勢とウォーキングにより、美容技術に必要な体幹を鍛える
4回・5回12・1月	体調を整える自己管理と運動
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	看護師またはウォーキング指導師の経験を活かし、心身ともに健康でいられるよう、運動によって自己管理ができる美容師の育成を目的としている。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	健康運動学Ⅲ		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時)
			健康運動学			美容科	2年次	10時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	2年次4～12月	時限			資格対応			

担当教員	滝澤 清水 中澤奈 秦 佐藤 山崎				講師の実務経験	年以上	3
------	-------------------	--	--	--	---------	-----	---

授業概要	美容師に必要な健康状態管理と、リフレッシュにより能率アップできる効果を認識する		
授業方法	準備体操～運動		
授業目標	思考・判断・表現		
	技能		
	関心・意欲・態度	授業態度	
	知識・理解		
	備考		

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
		前期フィッティングバレー		25	25	25	25	100
	後期リフレッシュ体操		25	25	25	25	100	
	合計							

評価の表示 基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する

評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	ビーチボール、笛、採点表等
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回 4月	シッティングバレー 準備体操後チームに分かれトーナメント法で行う コミュニケーションの向上と健康管理を目的とする
2回 11月	リフレッシュ体操
3回 12月	リフレッシュ体操
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験を活かし、仲間と共に能率的な作業ができるよう運動を定期的に行うことで、健康管理のできる美容師の育成ができることを目的とする
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	コミュニケーション学(心理学)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時)
			コミュニケーション			美容科	1~2年次	30時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月~2年次11月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	加藤	講師の実務経験	年以上	3
------	----	---------	-----	---

授業概要	他者や自分の気持ちを論理的、客観的に紐解き、自分への自身と他者への理解を深める	
授業方法	理論~ロールプレイング~フィードバック~確認テスト	
授業目標	思考・判断・表現	
	技能	
	関心・意欲・態度	授業態度、評価表
	知識・理解	
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	ロールプレイング		25	25	25	25	100	
	フィードバック		25	25	25	25	100	
	確認テスト		25	25	25	25	100	
	合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100~80	79~65	64~60	59~21	20~0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	相手の気持ちをきちんと聞く技術
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回~4回 4月	心理学でわかること・人付き合いの心理学(人間関係・他人の気持ち)
5回~10回 5月	心理学者で読む心理学(無意識の発見・魂の発見)、人間の成長で見る心理学(赤ちゃん~老年)
11回~21回 6月	組織の中の人間行動、心の病気
22回~30回 7月	脳のシステム、性格と深層心理の分析、相手の気持ちを理解する聞きかた、共感
備考	

時間外での学習	サロン実習
講師の実務経験と授業の関係	心理カウンセラーの経験を活かし、自分の気持ちと向き合い、自分に自信をつけさせ、お客様の心理に寄り添い、より満足のいく接客ができる美容師の育成を目的とする。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	コミュニケーション学(コミュニケーション)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時)
			コミュニケーション		○	美容科	1~2年次	30時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	1年次7月~2年次12月	時限	資格対応	サービス接客検定				

担当教員	峯岸	講師の実務経験	年以上	3
------	----	---------	-----	---

授業概要	快適なサービスと接客で満足していただくための具体的な考え方、行動の仕方、話し方など、社会人としての常識を身に付ける	
授業方法	理論~展示~実習~理論~実習~確認テスト	
授業目標	思考・判断・表現	お客様第一に考える思考と判断
	技能	対人技能、実務技能
	関心・意欲・態度	授業態度、評価表
	知識・理解	専門的な用語、ことわざ、基本接客のマナー
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	確認テスト		25	25	25	25	100	
	ロールプレイング		25	25	25	25	100	
	検定		25	25	25	25	100	
	合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100~80	79~65	64~60	59~21	20~0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	サービス接客検定受験ガイド
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1~2回 7・8月	サービススタッフの資質・専門知識(サービス知識・従業知識)・一般知識(社会常識)
3~5回 12~2月	対人技能(人間関係・接客知識・話し方)
6~13回 4~6月	実務技能(身だしなみ・問題処理・店舗管理・金品管理・社交業務)・模擬試験・サービス接客検定
14・15回 9・12月	総合実践ロールプレイング・フィードバック
備考	

時間外での学習	サロン実習
講師の実務経験と授業の関係	TVレポーター、ホスピタリティコーディネーター等の経験を活かし、サービス業全般の接客技術向上を目的とする
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	社会福祉学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時)
			社会福祉			美容科	2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	2年次6～10月	時限		資格対応	准福祉理美容師			

担当教員	有賀 高橋 福澤 清水			講師の実務経験	年以上	3
------	-------------	--	--	---------	-----	---

授業概要	身体を自由に動かせない高齢者や障害者の方に理美容サービスを行う際の、知識・経験・技能を取得する	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト	
授業目標	思考・判断・表現	お客様の尊厳を守り、生活の支えになるような言動であるか
	技能	福祉の基本的理解と高齢者や様々な障害のある方への個々にあった対応の仕方
	関心・意欲・態度	歩行助手・車いす助手・寝たきりシャンプーなどの実習
	知識・理解	福祉の基本的理解と高齢者や障害についての様々な知識
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	専門教育科目			25	25	25	25
福祉理美容技術			25	25	25	25	100
実技			25	25	25	25	100
合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	准福祉理美容師養成講座テキスト1・2
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回 6月・7月	福祉とは、医学と医療、感染症について、高齢者や障害者の心のケア、ターミナルケア、介護施設実習体験
5～7回9・10月	介助技術、車いす座位からの立位、シャンプー台移乗、寝たきりシャンプー、疾病による施術の順
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	看護師の経験から、様々な症状の方に対応できる介助方法を学生が知ることで、益々実践的な介助ができる、准福祉理美容師の育成ができることを目的とする。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	着付け		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			着付け・カット		○	美容科	1年次	60時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	1年次8月～12月	時限		資格対応	山野流初中伝			

担当教員	山野流着装講師			講師の実務経験	年以上	3
------	---------	--	--	---------	-----	---

授業概要	着付けの基礎知識から浴衣、小紋、振袖、留めそで着付けの知識と技術を得て、初中伝を取得する	
授業方法	理論～展示～実習～認定試験	
授業目標	思考・判断・表現	時間厳守、礼儀作法
	技能	着付け技術
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	査定
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
		確認テスト		25	25	25	25	100
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100	
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100	
	合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	山野流テキスト
その他参考書	展示作品(各種類の着物による展示作品)

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1・2回8・9月	着付けの基礎知識、浴衣着付け
3・4回9月	小紋着付け
5～7回10月	振袖着付け
8～10回10・11月	留めそで着付け(査定)
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師としての経験を活かし、着付けの基礎知識から、様々なお客様に合わせた、様々なシーンに合わせた着付けができる美容師の育成を目的とする。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	カット		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			着付け・カット		○	美容科	1年次	60時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	1年次8月～12月	時限	資格対応	peek-a-boo学生コース修了書				

担当教員	(peek-a-boo) 山崎 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	-----------------------	---------	-----	---

授業概要	peek-a-booの基礎のカット技術を正しく理解させる	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	準備・挨拶
	技能	カット技術
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	確認テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	確認テスト		25	25	25	25	100	
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100	
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100	
	合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	peek-a-booカットテキスト
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1・2回8・9月	RLスタイル、OLスタイル、FGスタイル
3・4回9月	BGスタイル、RLスタイル、イサドラ
5～7回10月	マッシュ
8～10回10・11月	ステップレイヤー
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験を活かし、基礎的技術とカット技術の楽しさと、正確な技術の大切さを指導する
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	メイクアップ		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時
			メイクアップ		○	美容科	1年次	60時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次11月	時限		資格対応	JMAメイクアップ技術検定			

担当教員	ビースタッフ山口・竹内(アリミノ) 中澤奈 柏原 松林			講師の実務経験	年以上	3
------	-----------------------------	--	--	---------	-----	---

授業概要	メイクの基礎知識や基礎技術を学習し、JMA検定2, 3級を取得する	
授業方法	実習体系にて相モデルで行う(感染症の状況でメイクドールを使用する)	
授業目標	思考・判断・表現	JMA検定、課題作成
	技能	JMA検定、課題作成
	関心・意欲・態度	課題作成、授業態度
	知識・理解	ネイルの道具や技術、感染症などの知識
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
		課題作成		25	25	25	25	100
	授業態度		25	25	25	25	100	
	JMA検定		50			50	100	
	合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	JMAメイクアップ技術検定テキスト アリミノベーシックメイクテキスト
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1、2回 5月	アリミノベーシックメイク
3、4回6月	JMA検定対策
4、5、6回 7月	JMA検定対策
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	メイクアップアーティストの経験より、仕事の現場で使用する道具や、仕事の現場での知識や技術を伝え、即現場で実践できる美容師の育成を目的とする
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	カラー	科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
		ヘアデザイン		○	美容科	1～2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件					
開講期	1年次4月～2年次11月	時限		資格対応	ヘアカラー検定		

担当教員	グラ ソラ サムシング 山崎 中澤さ 柏原 泰 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	-------------------------------	---------	-----	---

授業概要	カラーの基礎知識や基礎技術を学習し、ヘアカラー検定を取得する	
授業方法	実習体系にてウィックで行う	
授業目標	思考・判断・表現	課題制作
	技能	カラー検定
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	カラー検定
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	課題作成			25	25	25	25
授業態度			25	25	25	25	100
JHCA検定			50			50	100
HC							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	新ヘアカラー入門
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回 4月	ヘアカラーの基礎知識
5回～10回 5月	ヘアカラーの基礎技術
11回～21回 6月	カラー検定対策
22回～30回 7月	カラー検定対策
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師としての経験を活かし、ヘアカラーの知識と技術を身に付け、ヘアカラー技術の即戦力となる美容師の育成を目的とする

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	外来カット		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			ヘアデザイン		○	美容科	1年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次11月	時限		資格対応				

担当教員	ソラ グラ サムシング 山崎 泰 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	------------------------	---------	-----	---

授業概要	カットの基礎知識と基礎技術を習得し、決められた課題を作成できる	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	課題作成
	技能	テスト
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	課題制作		25	25	25	25	100	
	授業態度		25	25	25	25	100	
	テスト		50			50	100	
	合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	peek-a-booカットテキスト
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回 4月	シザーズの扱い方、ワンレングス
5回～10回 5月	グラデーション
11回～21回 6月	レイヤー
22回～30回 7月	セიმレングス
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師としての経験を活かし、カットの知識と技術を身に着け、カット技術の即戦力となる美容師の育成を目的とする
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	パーマ	科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
		ヘアデザイン		○	美容科	1～2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件					
開講期	1年次4月～2年次11月	時限		資格対応			

担当教員	りんごの木 早川 滝澤 泰 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	---------------------	---------	-----	---

授業概要	パーマントウェーブの特性を正しく理解し、目指すスタイルづくりができる。	
授業方法	実習体系にてウィックで行う	
授業目標	思考・判断・表現	課題制作
	技能	最終課題
	関心・意欲・態度	出席日数、授業態度
	知識・理解	理論確認テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
		課題作成		25	25	25	25	100
	授業態度		25	25	25	25	100	
			50			50	100	
	合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	日本理容美容教育センター美容技術理論、美容実習参考、加温器、加温ロッド、ストレートアイロン、薬剤
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～2回 11月	理論、実験とパーマの実際、パーマアラカルト
3回～4回 12月	ホット系パーマ、ストレートパーマ
5回～6回 1月	デザインパーマ
7回 2月	最終作品
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師としての経験を活かし、パーマの知識と技術を身に着け、パーマ技術の即戦力となる美容師の育成を目的とする
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	シャンプー・ヘッドスパ		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時間) 90
			シャンプー		○	美容科	1~2年次	
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月~2年次11月	時限			資格対応			

担当教員	早川 資生堂 ミルボン 清水 滝澤 泰 中澤な 佐藤 山崎	講師の実務経験	年以上	3
------	-------------------------------	---------	-----	---

授業概要	全ての基礎を作る前の施術であるシャンプー技術を正しく理解させ、お客様にとって気持ちよい施術を行う	
授業方法	理論~展示~実習~確認テスト~実習~テスト(評価)	
授業目標	思考・判断・表現	相モデルへの気遣いや、技術内容により、相モデルからの信頼感が得られる
	技能	シャワーヘッドの当て方、指の強さや動かし方、技術時間配分
	関心・意欲・態度	次の施術に合った内容で、相モデルが気持ちよく安心して任せているか
	知識・理解	全ての技術の順番や内容に理論があり、手順書通りに行えること
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト(見返しシート)		25	25	25	25	100
	確認テスト(決められた時間内で仕上げる)		25	25	25	25	100
	期末試験		25	25	25	25	100
評価の表示	準備から施術、片付けのジャッジと、相モデルの見返しシートを参考にし100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	シャンプーの基礎知識やシャンプー技術を評価する。						

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターDVD、
その他参考書	実務経験のある教員作成による手順書・接客に関する手引き

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回 5月	シャンプー理論、シャンプー剤について
2~5回 5~7月	ブラッシング理論、セッティング、ブラシの扱い方、マッサージ理論、基本動作、ドライの仕方、手順(ブレーンリンス)
6回 8月	サロン技術のサイドシャンプー展示講習(資生堂講師)
7~8回 8~9月	サロンで通用する技術習得
9~12回 10~11月	サイドシャンプー実技試験(手技、手順、姿勢、声掛け)
13~15回 12~1月	サイドシャンプー時間計測(時間内作業を目指す)
16回 4月	サロン技術のバックシャンプー展示講習(資生堂講師)
17~18回 4~5月	サロンで通用する技術習得
19~22回 5~6月	バックシャンプー実技試験(手技、手順、姿勢、声掛け)
23~25回 6~7月	バックシャンプー時間計測(時間内作業を目指す)
26回 8月	サロン技術のヘッドスパ展示講習(資生堂講師)
27回~30回 8~9月	ヘッドスパ技術習得
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験から、様々な美容技術がスムーズに行えるシャンプー技術について展示講習をしつつ、授業を行う。より快適な気分を味わっていただけるお客様にとって気持ちの良い技術を心がけさせるとともに、体の位置や姿勢などに注意し技術者自身が腰痛など起こさないような指導を行う
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	ネイル		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			選択実習			美容科	1～2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次11月	時限		資格対応	JNAジェルネイル検定			

担当教員	伊藤(滝川) 中澤佐和子 秦			講師の実務経験	年以上	3
------	----------------	--	--	---------	-----	---

授業概要	JNAジェルネイル検定取得	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～検定	
授業目標	思考・判断・表現	課題作成
	技能	JNA検定
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	JNA検定
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
		課題作成		25	25	25	25	100
	授業態度		25	25	25	25	100	
	JNA検定		50			50	100	
	合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評価にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評価	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	エアープラシ、JNAジェルネイルテキスト
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回 6月	JNAジェルネイル検定対策
2, 3回 6月	JNAジェルネイル検定対策
4回7月	ジェルネイルデザイン①
5回7月	自由作品
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	ネイリストの経験より、仕事の現場で使用する道具や、仕事の現場での知識や技術を伝えていただき、即現場で実践できる美容師の育成を目的とする
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	カット&カラー		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時)
			選択実習			美容科	1～2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次11月	時限		資格対応				

担当教員	ティアナ 山本    アプリーレ三水	講師の実務経験	年以上	3
------	--------------------	---------	-----	---

授業概要	カット技術やカラー技術をさらに向上させるため、基礎技術と応用さらに作業姿勢を学ぶ	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～最終テスト	
授業目標	思考・判断・表現	課題作成
	技能	最終テスト
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	最終テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	課題作成		25	25	25	25	100
授業態度		25	25	25	25	100	
最終テスト		25	25	25	25	100	
合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評価は5段階評価にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評価	5	4	3	2	1

テキスト・教材	カット教材    ヘアケア製品    カラー剤
その他参考書	展示作品

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回 4月(6月)	カットの歴史とサロンカット技術
2, 3回 5月(6月)	カラーの仕組みと色の選び方
4回5月(7月)	サロンカットスタイルとヘアカラー
5回6月(7月)	最終テスト
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容室勤務の経験を活かし、さまざまなカットスタイル技術を行うため、美容師としての経験の中で授業に合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	ブライダル		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時
			選択実習			美容科	1~2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月~2年次11月	時限			資格対応			

担当教員	シュール 網野 三善 アムールマヤ 藤原			講師の実務経験	年以上	3
------	----------------------	--	--	---------	-----	---

授業概要	ブライダルの知識とブライダルの技術を学び、花嫁の作成を行う	
授業方法	理論~展示~実習~理論~実習~最終テスト	
授業目標	思考・判断・表現	課題作成
	技能	最終テスト
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	最終テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
		課題作成		25	25	25	25
	授業態度		25	25	25	25	100
	最終テスト		25	25	25	25	100
	合計						
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100~80	79~65	64~60	59~21	20~0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	ヘアセット教材、メイク教材(水おしろい)
その他参考書	展示作品

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回 4月(6月)	ブライダルの知識
2, 3回 5月(6月)	和装、洋装のメイクとヘア
4回5月(7月)	洋装ヘアとフラワーのワイヤリング技術
5回6月(7月)	最終テスト(花嫁作成)
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	ブライダルの経験を活かし、ブライダルの知識と技術を習得させることを目的としている。
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	フォトメイク		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			選択実習			美容科	2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	2年次4～6月	時限		資格対応				

担当教員	M-slashu小松 ドッツ東沢 be-staff竹内 カメラマン大澤	講師の実務経験	年以上	3
------	-------------------------------------	---------	-----	---

授業概要	フォトコンテストやSNS発信のための作品作り	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	課題作成
	技能	最終テスト
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	最終テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	課題制作		25	25	25	25	100	
	授業態度		25	25	25	25	100	
	コンクール		50			50	100	
	合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評価にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評価	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	セット教材 メイク教材
その他参考書	展示作品

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回 4月	小松 フォトコン対応 ヘアセット技術及び撮影原理
2, 3回	東沢 SNS対応 ヘアセット及び画角の撮り方
4回5月	竹内 フォトメイクの知識と技術
5回	カメラマン撮影 フォトコンテスト
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師やメイクアップアーティストの経験より、仕事の現場で使用する道具や、仕事の現場での知識や技術を伝えていただき、即現場で実践できる美容師の育成を目的とする
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	まつげエクステンション		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			選択実習		○	美容科	2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	2年次4～6月	時限		資格対応	JEA3級検定			

担当教員	アイデザイン志太	講師の実務経験	年以上	3
------	----------	---------	-----	---

授業概要	まつ毛エクステンションの基礎知識と安全な施術習得	
授業方法	理論～実技展示(ウィック)～実習～日本アイリスト協会JEA3級検定	
授業目標	思考・判断・表現	理論理解、適切な施術(安全性)、デザイン性
	技能	検定
	関心・意欲・態度	出席状況、発言
	知識・理解	応用力
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
		課題作成		25	25	25	25
	授業態度		25	25	25	25	100
	最終テスト			50		50	100
	合計						
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	日本理容美容教育センター発行まつ毛エクステンション参考、LIONセット(ABEまつ毛エクステンション対応)
その他参考書	展示作品

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回 4月(6月)	モデルウィックに安全な装着、衛生・技術の理論
2, 3回 5月(6月)	モデルウィックに安全な装着、サージカルテープのみ人体相モデル装着
4回5月(7月)	モデルウィックに安全な装着、眉毛アート、まつ毛カール
5回6月(7月)	JEA検定
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	アイリストの経験を活かし、衛生の知識や安全で適切な施術が提供できる美容師の育成を目的とする
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	総合技術(応用技術及びエアブラシ)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時)
			総合技術			美容科	1, 2年次	60時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	2年次4月～3月	時限			資格対応			

担当教員	秦 佐藤 山崎 清水 滝澤 中澤奈 浅野	講師の実務経験	年以上	3
------	----------------------	---------	-----	---

授業概要		
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト	
授業目標	思考・判断・表現	
	技能	施術中の作業姿勢、仕上がり審査、評価表
	関心・意欲・態度	授業態度、積極性
	知識・理解	
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト			25	25	25	25
評価表			25	25	25	25	100
合計							

**評価の表示** 基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する

評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習
その他参考書	展示作品

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回4～7月	応用カット
5回～10回8～10月	シャンプーブロー・ヘアアレンジメント・エアブラシ
11回～21回11～1月	ヘッドスパ
22回～30回1～3月	シャンプーブロー
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	相モデルで行う応用実習のため、美容師経験を活かし様々な状態のモデルの髪質や骨格を把握し、最適な施術ができる指導が行える
備考	

## 授業計画(シラバス)

授業科目名	総合技術(ネイル)		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			総合技術			美容科	1年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次8月～12月	時限		資格対応	JNECネイル技術検定試験			

担当教員	伊藤(滝川) 中澤佐和子 滝澤 中澤奈々			講師の実務経験	年以上	3
------	----------------------	--	--	---------	-----	---

授業概要	ネイルの基礎知識や基礎技術を学習し、INAネイル技術検定試験A検定を取得する	
授業方法	実習体系にて相モデルで行う	
授業目標	思考・判断・表現	INA検定
	技能	INA検定、
	関心・意欲・態度	課題作成、授業態度
	知識・理解	ネイルの道具や技術、感染症などの知識
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	学内コンクール		25	25	25	25	100	
	授業態度		25	25	25	25	100	
	INA検定		50			50	100	
	合計							
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	JNECネイル技術検定テキスト
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～5回 8～10	ネイルの基礎知識と基礎技術
6回 11月	JNEC検定
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	ネイリストの経験より、仕事の現場で使用する道具や、仕事の現場での知識や技術を伝えていただき、即現場で実践できる美容師の育成を目的とする
備考	